

令和2年11月4日

関係機関等の長 各位

九州大学大学院人間環境学研究院
都市・建築学部門
部門長 堀 賀貴

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門は、学部（工学部建築学科）では建築学の広範な専門領域に対する教育を担い、大学院（人間環境学府都市共生デザイン専攻および空間システム専攻）では建築学をベースとして人間環境学府・研究院が目指す文理融合の研究・教育を実践しています。この度、人間環境学研究院都市・建築学部門では、建築技術の社会実装とそれを生かした建築教育に取り組むセンターBeCAT (Build Environment Center with Art and Technology)の新規設立に伴って、下記要領により教員を公募することになりました。

近年、個々のエンジニアリングの高度化が進み、特に大学教育では専門分化が進行しています。一方で、実社会においては、新たなテクノロジーを含む多様な技術を統合・最適化し、社会課題を解決することが求められており、当部門ではそれらの統合力の育成を目標に設計教育を目指しています。BeCATは、デザインとエンジニアリングを結びつける高度な設計教育を標榜するセンターとして、これらの教育理念を実現するために立ち上げられたものであり、大学での研究内容を社会実装するための機関にもなるような場を目指しています。本公募で採用する教員には、現職教員とともに、このBeCATでの中心的な役割を担ってもらうことを期待しており、計画系・環境系・構造系といった既存の専門分野を横断する領域の研究・実践や新たなテクノロジーの活用によって建築の可能性を拓き、それを建築設計に反映することに取り組む研究者または実務家を募集します。

つきましては、本公募についてご周知いただくとともに、適任者の推薦についてよろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 募集人員 准教授または講師 1名
2. 所 属 都市・建築学部門 計画環境系講座
3. 人 材 像 環境技術の設計への応用、環境情報技術など、計画系・環境系・都市系といった既存の専門分野の境界領域における研究・実践や新たなテクノロジーの活用、とくに情報技術を活用して建築環境技術の可能性を拓き、それを建築設計に反映することに取り組む研究者または実務家
4. 担当講義 学部及び大学院において建築設計演習とそれに付随する授業科目（一連の建築設計基礎演習AからE、建築デザインスタジオ、およびそれらに関連する講義、それ

ぞれの一部)を担当する。また、新設される「環境建築のための研究・教育センター：Built Environment Center with Art & Technology / BeCAT」において採用者の専門性に応じて新設される授業科目を担当する。

5. 着任時期 令和3年4月1日以降できるだけ早い時期
6. 勤務形態 常勤(テニユアトラック)
任期5年間(ただし、この期間の研究・教育実績によりテニユア(任期なし)への審査を検討します。)
7. 勤務内容 大学院および学部での研究・教育の他、令和3年4月開設予定の「環境建築のための研究・教育センター：Built Environment Center with Art & Technology / BeCAT」の運営に中心的な役割を担います。
8. 応募資格 博士の学位を有すること(取得見込みを含む)。またはそれと同等以上の研究・実務業績を有すること。専門分野において、大学院および学部で研究・教育指導ができること。英語で研究・教育指導ができること。
9. 待遇 (1) 以下の通りです。
給与：年俸制(令和2年4月1日導入の年俸制)
なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規定により決定します。
勤務時間：専門業務型裁量労働制により7時間45分働いたものとみなされます。
休日：原則、土・日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)
加入保険：雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金
(2) 待遇に関する問い合わせ先
九州大学人文社会科学系総務課人事係 jbsjinji*jimu.kyushu-u.ac.jp (*を@に変更して送信してください)
(3) 参考情報 九州大学規則集 https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf_list/2
10. 選考方針 選考においては、応募資格に加えて下記の事項を勘案します。
 - ① 優れた研究業績と社会的評価を有すること
 - ② 専門分野以外にも十分な理解と関心を有し、多様な研究者と協働して新領域の教育研究活動に意欲的に取り組むことが期待できること
 - ③ 研究教育に加えて、産学連携活動、国際交流活動にも積極的であること
11. 提出書類 下記の書類をいずれも2部提出すること。また、下記の書類のPDFデータを収めたCD/DVDもしくはUSBメモリを同封すること。※すべて書式自由
 - ① 履歴書
住所・電話番号・メールアドレス・写真を含む
 - ② 業績書
査読付き論文、国際会議発表論文、著書、総説、作品、特許、学協会等の社会活動、教育経験など
 - ③ 主要な研究業績の概要

業績書の査読付き論文から主要なもの（3件程度）の概要（1件当たり200字程度）と別刷り（コピー可）

④ これまでの教育研究活動等の実績と将来の抱負

研究/実務、教育、社会活動について、項目別にこれまでの実績と将来の抱負を記載すること。教育の項目には、専門性に応じた新しい授業科目の提案を含めること。また、いずれかの項目に関連して、他者と協力して各種プロジェクト（補助金事業や共同設計など）を運営した経験があれば記載すること。全体でA4、2枚に収めること（適宜、図版、写真を掲載してもよい）。

⑤ 研究助成金等獲得実績書

研究課題、年度、金額、助成団体を明記したもの（代表・分担の別を明記）

⑥ 本人に関する意見を聞くことのできる方2名の連絡先

氏名、所属、職、メールアドレス、電話番号を記述したもの

12. 応募費用 応募者が選考を受けるために必要とした費用は、全て応募者の負担とします。

13. 締 切 令和2年12月18日（金）必着

14. 選考方法 応募書類による1次審査 および 面接による2次審査

15. 送 付 先 〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学人文社会科学系総務課人事係 宛て

※ 封筒に「教員応募書類（都市・建築学部門）在中」と朱書きし、書留で郵送してください。

16. そ の 他 ① 提出書類は原則として返却しませんのでご了承ください

② 提出書類に含まれる個人情報、選考及び採用以外の目的には使用いたしません

17. 問合せ先 大学院人間環境学研究院 都市・建築学部門 堀 賀貴

E-mail : hori*arch.kyushu-u.ac.jp(*を@に変更して送信してください)

18. 備 考 ① 都市・建築学部門の詳細は、<http://www.arch.kyushu-u.ac.jp/> を参照してください。

② 「環境建築のための研究・教育センター：Built Environment Center with Art & Technology / BeCAT」は、持続環境都市・建築のためのR&D、環境設計、社会実装を目指して都市・建築学部門に付属開設される組織です。このセンターは総合理工学研究院・学府および芸術工学部、同研究院・学府と連携して運営されます。BeCATに関する資料は以下のURLからダウンロードしてください。

<https://www.arch.kyushu-u.ac.jp/wp-content/uploads/2020/11/BeCAT.pdf>

③ 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行っています（男女共同参画推進室 <http://danjyo.kyushu-u.ac.jp> 参照）。

④ 九州大学では「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教

員の選考を行います。

- ⑤ 九州大学では、平成 29 年 7 月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。選考条件等の詳細については九州大学男女共同参画推進室ホームページ (<http://danjyo.kyushu-u.ac.jp/notice/view.php?cId=2600&>) をご参照下さい。

以上